

【佳作】「思い出がたくさんの給食」

二本木小学校 飯塚 菜月

「今日は、カレーだね。いいにおい。」

と友達の声がある。早く準備をして、みんなでしゃべりながら楽しく給食を食べることが私は好きです。私の好きな給食のメニューは、ビビンバです。母も家でビビンバを作ってくれました。けれど、給食の味とは少しちがって、みんなで何でだろうと考えて改善点が見つかりました。改良をどんどん繰り返すうちに、給食の味にだんだん近づいていきました。給食のおかげで、家族との会話がはずんで、家族の仲が深まってくれしかったです。

給食について、最近知ったことがあります。それは、今月の予算に合わせてお肉の種類をかえるなど、いろいろとやりくりしていることです。やりくりすることは、大変だと思いました。限られた中で、おいしく、栄養バランスのとれたメニューが考えられていてすごいと思いました。

給食の献立表を見ると必ず、体を作る食品の赤、体の調子を整える食品の緑、エネルギーのもとになる食品の黄色の三色が一回の給食でとれるように計算がしてあり、毎日残さずに食べようと思います。

そして季節を感じさせてくれる七夕ゼリーなどのデザートや、カシューナッツや小魚くんもおいしくて好

きです。余ったものをもらうためのじゃんけんにも勝つと、とてもうれしかったです。

給食当番は、この六年間いろんな係をやってきました。食器係やバット、食缶など給食を配ぜんする仕事もあり、同じ量を配ろうとすると、量が足りなくなったり、とても余ってしまったりして調節することが難しかったです。でも、高学年になるにつれ、こつをつかみ始めて、六年になると四年のときよりも上達して、うれしかったです。

給食中にグループで話すときは、修学旅行の予定やテレビ番組の話などをして盛り上がります。

「私はね、金閣寺や清水寺に行くよ。」

「おれは、三十三間堂と伏見稲荷大社に行くんだ。」と女の子も、男の子も話をします。給食の時間の話は、歴史などの話にも広がり、私の知らないようなことをたくさん知ることができて、びっくりすることも多くあります。

私は給食の時間は大切なコミュニケーションをとりながら、マナーや礼儀を学ぶ時間として大切だと思っています。なので、私はこれから、コミュニケーションをとったり、いろんな知識を得たりしながら、給食を残さずに食べて、楽しい学校生活を送りたいと思います。